ねんりんピック Chōju 東京 2028 大会準備運営委員会（第１回）
議事要旨

■日 時：令和８年７月８日（水）16:00 ～ 16:25
■場 所：東京都庁第一庁舎７階大会議室
■議事：
（１）知事挨拶
（２）事務局説明
（３）意見交換
（４）知事まとめ

（１）知事挨拶
・会議冒頭に、人生 100 年時代における本大会の開催意義等について、小池知事より発言
＜主な内容＞
・誰もが健康でいきいきと暮らせる社会を築くことは重要。この機を捉え、高齢者のみならず、子供や若者の参加も促し、人が輝き、活力あふれる都市の実現につなげていきたい。
・先端技術や芸術文化など、東京が持つ様々な強みを発揮し、オール東京で大会を盛り上げていきたい。

（２）事務局説明
・事務局より東京大会の概要や特徴（多世代交流、先端技術など）について、会議資料のとおり説明を行った。

（３）意見交換
・事務局説明を踏まえ、各委員から東京ならではの取組について意見交換を行った。
＜吉住副会長＞
・大会を契機として多世代交流や健康づくりの気運が地域に広がることが重要。23 区としても地元住民が広く大会に参加できるよう協力する。
＜加藤副会長＞
・多摩地域の自然の豊かさを発信したい。多世代参加型の取組や、高齢者が住みやすい地域づくりが重要である。
＜川澄委員＞
・地域で暮らす方々が社会とつながる機会を創出し、また、多世代交流の促進につながるレガシーを期待。都民や NPO、企業等の参画を促し、地域参加意識の醸成を図りたい。
＜外山委員＞
・大会を老人クラブ活動の活性化と地域づくりへの参画の契機とし、健康づくりや支え合いなど地域活動の担い手として積極的に参加したい。

＜小谷委員＞
・60 歳以上でも現役で活躍するアスリートの姿を発信し、スポーティーでアクティブな人々が交流する姿をイメージできるような大会になってほしい。東京 2020 大会の経験やレガシーを生かし、今後のねんりんピックの模範となる東京ならではの大会を目指すべき。
＜安渕委員＞
・高齢者の健康増進や健康寿命の延伸は、個人の豊かな人生だけでなく、企業や経済社会全体を支える重要な課題。大会参加者の活躍を通じて健康経営への関心が高まることを期待する。
＜山下委員＞
・多摩・島しょ地域における地域経済への波及効果や地域の魅力発信の貴重な機会。デジタルや先端技術の活用による地域企業のビジネス機会創出や、シニア世代の健康増進や多世代交流など、地域の発展につなげたい。
＜根本様 ※上條委員 代理出席＞
・全国から訪れる参加者に東京の多彩な魅力を体感してもらえるよう、観光団体や民間事業者等と連携し、観光振興や誘客に取り組む。
＜岡崎副会長＞
・デフリンピック等で培った競技進行や会場運営のノウハウを生かし、開閉会式、宿泊、輸送等を着実に進め、先端技術の活用や伝統文化の魅力発信、ボランティアや協賛、多世代参画により大会をつくり上げる。

（4）知事まとめ
・各委員からの意見を踏まえたまとめについて、小池知事より発言
＜主な内容＞
・地域の魅力発信、多世代交流、アクティブシニアの活躍発信を通じて、シニアのスポーツ参加等のきっかけづくりにつなげたい。
・東京ならではの取組や、都が目指す大会の姿を具体化し、子供・若者から高齢者まで、あらゆる世代が健やかに暮らし続けられる東京を目指して、東京 2020 大会等で培われた人材・経験を生かしながら、大会を創り上げていく。

以上